

病防第101号  
令和2年8月5日

各関係機関の長 様  
(農政担当)

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

令和2年度発生予察注意報第6号  
(果樹カメムシ類)

---

### 令和2年度病虫害発生予察注意報第6号

令和2年8月5日  
岐 阜 県

作物名 果樹(ナシ、カキ、モモ、リンゴ、ミカン等)

病虫害名 果樹カメムシ類(主にチャバネアオカメムシ新世代成虫)

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 8月上旬～

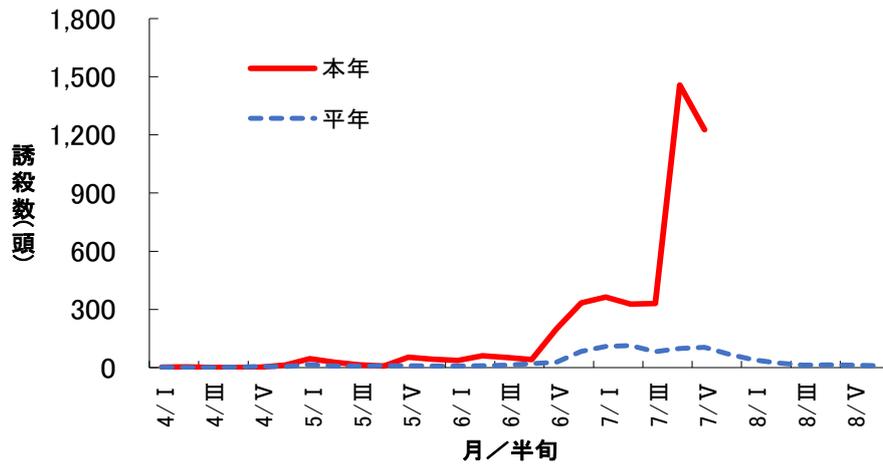
3 発生程度 多い

4 予察の根拠

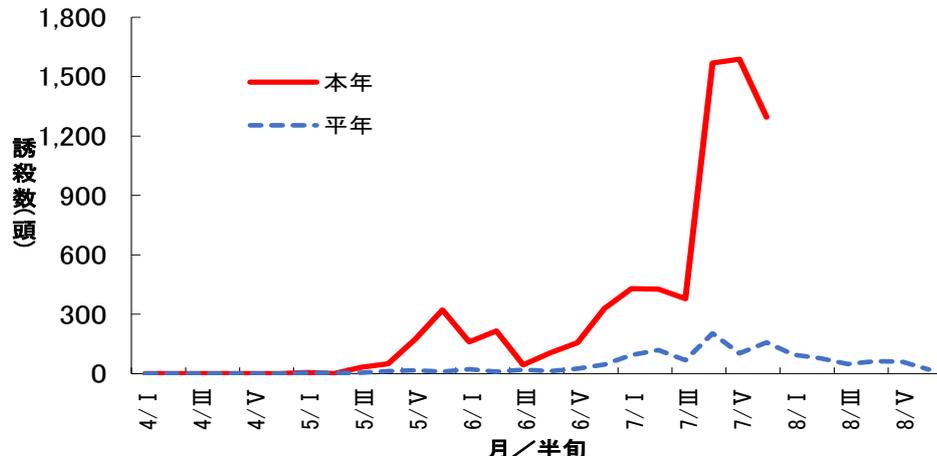
- (1) フェロモントラップ及び予察灯へのチャバネアオカメムシの誘殺数は、7月第4半旬に急増し、平年より多く推移している(図)。
- (2) 一部のカキ及びナシ園では、すでに成虫の飛来がみられ、吸汁被害が確認されている。
- (3) 本年は主要な餌となるスギ・ヒノキ球果の結実量が少ない地域があり、早期にスギ・ヒノキより離脱して、果樹園へ飛来し、加害する可能性がある。
- (4) 今後の気温は高いと予想され、本虫の発生に好適な条件となる。

5 防除上の注意事項

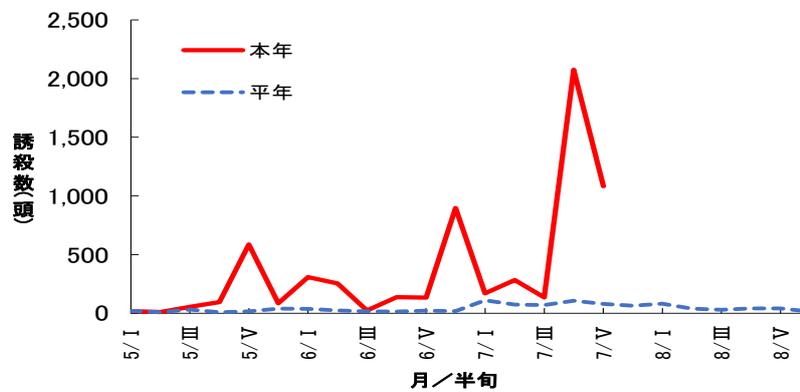
- (1) 果樹カメムシ類の被害発生には地域差や園地の差があるので、園内へ飛来を確認したら、防除を実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
- (2) 果樹カメムシ類の飛来は夜温、湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
- (3) 薬剤によっては、カイガラムシ等の多発を招くこともあるため、薬剤選択には十分に配慮する。
- (4) 農薬は、最新の登録情報(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html> 農林水産消費安全技術センター)を参照し、適正に使用する。また防除に当たっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止に努める。



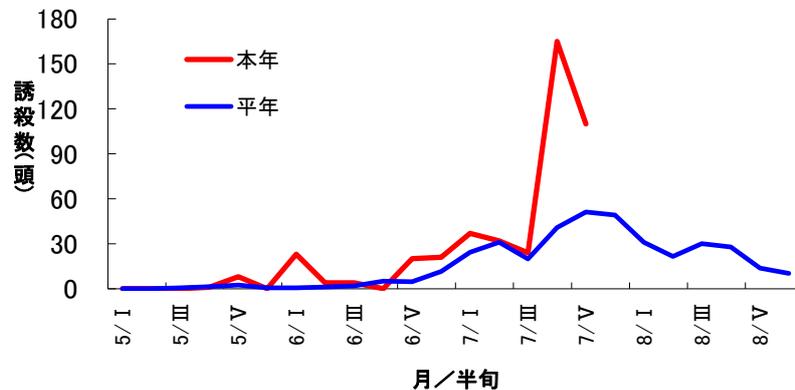
岐阜市則松 (フェロモントラップ)



美濃加茂市山之上町 (フェロモントラップ)



中津川市落合 (フェロモントラップ)



高山市国府町 (予察灯)

図 県内各地域でのチャバネアオカメムシ誘殺数の推移